

令和4年度

学校関係者評価 報告書

学校法人 青池学園

富山調理製菓専門学校

富山調理製菓専門学校 学校関係者評価報告

学校法人青池学園 富山調理製菓専門学校は、教育理念、教育目的等をはじめとする学校教育及び学校運営について自己点検・自己評価を実施し、「令和4年度 学校自己点検・自己評価報告書」を取りまとめ、当校のホームページに公表いたしました。

また、学校関係者評価委員会におきまして、当校に関連する企業・業界の方々や教育関係者の皆様より当校の学校教育及び学校運営に対し、幅広くかつ的確なご意見、ご指導を賜りました。頂戴いたしましたご意見等につきましては「令和4年度 学校関係者評価報告書」としてご報告させていただきます。

今後は、委員の皆様から頂戴いたしました貴重なご意見やご指摘を真摯に受け止め、大いなる気づきとし、社会のニーズに応えられる学生指導と教育の質の保証及び向上を目指し、教職員一同邁進して参る所存でございます。

関係者の皆様には、今後とも尚一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年11月10日

学校法人 青池学園
富山調理製菓専門学校
校長 神田 聡

令和4年度学校関係者評価委員会 開催概要

富山調理製菓専門学校

1 開催日時

令和5年11月8日(水) 13:30~15:00

2 開催場所

本校6階講堂

3 出席予定者(学校関係者評価委員会委員一覧表)

	学校関係者評価委員	所 属	役職名
1	小西 謙造	(外部委員) 全日本司厨士協会北陸地方本部	会長
2	米田 義直	(外部委員) 富山県洋菓子協会	会長
3	君波 敦子	(外部委員) 元県立高校校長	
4	青池 浩生	学校法人青池学園	理事長
5	神田 聡	富山調理製菓専門学校	校 長
6	鈴木 敦史	富山調理製菓専門学校	教務課長
7	谷内 健人	富山調理製菓専門学校	主任
8	焼田 幸百美	富山調理製菓専門学校	事務長

4. 学校関係者評価委員会次第

- ① 開会
- ② 理事長挨拶
- ③ 学校関係者評価委員紹介
- ④ 本校教職員紹介
- ⑤ 委員長選任
- ⑥ 自己点検・評価結果についての説明
- ⑦ 意見交換
- ⑧ 閉会

5. 富山調理製菓専門学校「令和4年度自己点検・自己評価報告書」に関する審議・評価
 〈自己点検・自己評価について〉

評価項目	評価・意見
基準1 教育理念・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念・目標は入学時に伝えている。入学後の授業内でも定期的に目標設定に取り組んでいる。 ・理念の共有は重要と考えている。社員証にもカード（クレド）を入れ、常に意識して業務にあたるようにしている。
基準2 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営においては、令和3年度よりデスクネットを導入し、ペーパーレスやデジタル化を進めており浸透してきた。 ・学生の成績・出欠管理のデジタル化、教職員の勤務管理が確認が容易となった。
基準3 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価を専任・外部教員共に実施。前年度に得られた授業評価により新たなアクションプランを立案し改善に努める。 ・職員研修の中で、Z世代の学生対応の研修を受け、時代に合わせた学生対応を意識し業務にあたるようにしている。
基準4 教育成果	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度さらに求人数が増加している。ホテル業界などの景気回復が見込まれ調理製菓共に、就職率100%を達成している。 ・製菓衛生師国家資格合格率は、(令和3年度)93.3%(令和4年度)92.3%となっており、全国平均を上回っているが、今後100%を目指していく。
基準5 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学生支援については、2年次の5月に合同企業説明会を開催し、学生の就職に向けた意識を改善していけるように取り組んでいる。 ・退学率は6%前後でありもう少し減少できるように改善したい。進路の変更や体調不良などでの退学が主な理由である。
基準6 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップはコロナ禍のため減少。製菓技術科についてはクリスマスシーズンに実施し、調理技術科は令和5年度より実施再開。 ・一年に2回、防災訓練を実施し、災害に備えている。
基準7 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は、調理製菓校として116名の在籍。充足率72.5%となっておりより他校との差別化が必要。 ・18歳人口の減少にともないより広報担当と連携して手段を検討していきたい。
基準8 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者確保が財務基盤の安定化に必須なので、教職員全員が意識して取り組みたい。 ・ホームページにて財務状況を公開している。就学支援新制度の要件の一つにもなっている。
基準9 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・法令等の遵守については、個人情報の管理を徹底。学生のSNS・LINEの使用についても継続的な指導が必要であり、また学生との連絡の取り方についてもGoogle classroomの活用を図っている。
基準10 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県や富山市主催のイベント等に積極的に参加し地域のイベントに参加

6. 今後の取組み

各委員からの貴重なご意見、ご要望を真摯に受けとめるとともに、当面する課題を検討・改善し今後の教育活動に生かして参りたいと思います。特に専門職を目指すためのより実践的なカリキュラムの充実、本学園の教育方針である「人間力」、「実践力」、「社会力」の3つの力の育成に向け指導を徹底することなど、令和5年度中にさらに体制を強化し、学校運営に活用して、より良い教育の実践を通して学生の育成に努めます。

以上